

産学協働人財育成 シンポジウム

産学協働による 人財育成に向けた アクションの始動

オールジャパンの視点から戦略的な産学協働による人財育成を進めるため、20企業と12大学が結集し、平成23年7月に産学協働人財育成円卓会議が発足しました。本会議が本年5月に公表した今後取り組むべき7つのアクションに基づく取組を紹介し、今後、産業界と大学の協働により取り組むべき人財育成・確保の在り方について議論します。

平成24年

12/10月

14:00~17:50 (開場13:30)

東京国際交流館
国際交流会議場

〈主催〉文部科学省 経済産業省

〈後援〉一般社団法人日本経済団体連合会 公益社団法人経済同友会

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/46/index.htm

産学協働人財育成円卓会議 共同座長挨拶



川村 隆

株式会社日立製作所取締役会長

株式会社日立製作所入社、日立工場長、代表取締役取締役副社長の後、日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社取締役会長、日立プラント建設株式会社取締役会長などを歴任し、株式会社日立製作所代表執行役執行役会長兼執行役社長を経て11年より現職。
一般社団法人日本経済団体連合会副会長、一般社団法人日本プラント協会会長。

「産学協働人財育成円卓会議」に関する初めてのシンポジウムの開催にあたり、円卓会議共同座長として挨拶申し上げます。

円卓会議では、これまでに政府、産業界、大学関係者による検討などを通じてなされた様々な提言も踏まえ、人財育成に向けた具体的なアクションを目指し、従来の産学連携の枠を超えて対話を重ねてきました。

本年5月に公表したアクションプランは、こうした取組が結晶したものであり、個々の企業・大学は、実行可能な事柄から、着実に取組を進めているところです。

新たな社会的価値を生み出すには、一組織が単独で取り組むよりも、企業・大学が協働して取り組む方が効果的であると考えられる事柄があります。今後は、そうした事柄について、産業界及び大学が課題意識を共有し、一つでも多く、少しでも早く着手すべきとの認識の下、人財育成の具体的な改善を図ることを目指していきます。

本日のシンポジウムの中では、産業界と大学双方が、我が国経済が今後必要とする人財像を共有した上で、お互いの協働体制を築き、具体的な行動につながる議論がなされることを期待して、私の挨拶とさせていただきます。



濱田 純一

東京大学総長

東京大学大学院法学政治学研究科法学博士号取得後、東京大学新聞研究所助教授、教授、社会情報研究所長、大学院情報学環長・学際情報学府長、副学長を経て09年より現職。
総務省電波監理審議会会長などを務める。
日本マス・コミュニケーション学会会長、国立大学協会会長。

「産学協働人財育成シンポジウム」の開催にあたり、円卓会議共同座長として一言御挨拶申し上げます。

世界に先んじて進む少子高齢化と人口減少を迎える我が国が、世界におけるプレゼンスを高め、厳しい国際競争の中でさらなる成長と発展を遂げるためには、新しい日本社会における成長・質的転換モデルを見出し、社会を牽引するリーダーの育成が不可欠です。

とりわけ、新たな価値を創造し、社会が直面する課題を解決に導くイノベーション「人財」、世界を舞台に活躍できるグローバル「人財」を産学一体になって育成することは急務であります。

そのためには、本日お集まりの高い意欲とポテンシャルを有する企業と大学の皆様方で、従来の産学連携の枠を超えて対話し、具体的なアクションを起こしていただくことが不可欠であると考えます。

本日のシンポジウムを契機として、広く社会に対する積極的な情報発信を行い、より多くの企業・大学、また、様々な地域や業界にアクションを拡げたいと思います。そして今後、産学協働により人財育成に取り組む機運を、ひとつの社会運動として盛り上げていきたいと考えます。

最後になりましたが、本シンポジウムが実り多い成果をもたらすことを強く期待申し上げ、私の御挨拶とさせていただきます。

基調講演



鎌田 薫

早稲田大学総長
(産学協働人材育成円卓会議共同座長代理)

早稲田大学大学院法学研究科を経て、早稲田大学法学部助手、専任講師、助教授、教授、法学部教務主任(学生担当)、大学院法務研究科長などを歴任し10年より現職。

企業トップからの提言



川崎 秀一

沖電気工業株式会社
代表取締役社長

沖電気工業株式会社入社、NTT 営業本部長、常務執行役員ネットワークシステムカンパニーバイスプレジデントなどを歴任し、常務取締役、代表取締役副社長を経て09年より現職。



永山 治

中外製薬株式会社
代表取締役会長
最高経営責任者

中外製薬株式会社入社、国際事業部部長、事業企画部長などを歴任し、代表取締役社長を経て12年より現職。
財団法人バイオインダストリー協会理事長、ソニー株式会社社外取締役。



山下 徹

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
取締役相談役

日本電信電話公社入社、エヌ・ティ・ティ・データ通信株式会社ビジネス開発事業本部長、常務取締役経営企画部長、代表取締役副社長執行役員など歴任し、代表取締役社長を経て12年より現職。

事例発表



櫻井 繁樹

京都大学
学際融合教育研究推進
センター教授

通商産業省(現経済産業省)入省、経済産業省貿易経済協力局技術協力課長、文部科学省大臣官房審議官(研究開発局担当)などを歴任し、財団法人石炭エネルギーセンター専務理事を経て12年より現職。



原田 庸一郎

三菱重工業株式会社
人事部次長

三菱重工業株式会社入社、米国三菱重工業へ出向(法務担当部長)、法務部グループ長、長崎造船所総務部長を経て10年より現職。



真壁 利明

慶應義塾
常任理事

慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程を経て、慶應義塾大学工学部助手、専任講師、助教授、理工学部教授、理工学部長・大学院理工学研究科委員を経て09年より現職。



松本 芳彦

一般社団法人
日本化学工業協会
常務理事

慶應義塾大学工学研究科応用化学専攻修士課程修了後、昭和電工株式会社入社。技術企画部 CSR室長を経て12年より現職。

パネルディスカッション



モデレーター 松本 洋一郎

東京大学
理事・副学長

東京大学大学院工学系研究科機械工学専門課程博士課程修了後、東京大学工学部講師、助教授、教授、東京大学大学院工学研究科研究科長を経て09年より現職。



パネリスト 赤平 昌文

筑波大学
理事・副学長

早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了、理学博士、電気通信大学助教授、筑波大学数学系教授、同大学院数理物質科学研究科長を経て09年より現職。



パネリスト 内田 史彦

株式会社日立製作所
研究開発本部技術統括センタ長

株式会社日立製作所中央研究所入社、研究開発本部CIO、研究情報統括センタ長を経て12年より現職。



パネリスト トラン・ゴック・フック (新田 一福)

株式会社メトラン
代表取締役

東海大学工学部工業学科卒業後、京工医科工業株式会社入社。株式会社メトランを設立し、84年より現職。



パネリスト 沼上 幹

一橋大学大学院
商学研究科長

一橋大学大学院商学研究科修士課程修了、商学博士、名城大学経済学部専任講師、一橋大学商学部講師、助教授、教授を経て11年より現職。



パネリスト 藤本 治己

帝人株式会社
採用・人材開発部長

帝人株式会社入社、帝人ファーマ株式会社人事総務部長を経て11年より現職。

プログラム

1 開会挨拶(14:00～) 文部科学省

2 基調講演(14:10～)

【演題】 活力ある未来を牽引する人財づくり
～産学協働人財育成円卓会議の議論をきっかけに～

【講演者】 鎌田 薫
早稲田大学総長(産学協働人財育成円卓会議共同座長代理)

3 事例発表(14:55～) (円卓会議アクションプランに基づく取組事例紹介)

- 櫻井 繁樹：京都大学学際融合教育研究推進センター教授
- 原田 庸一郎：三菱重工業株式会社人事部次長
- 真壁 利明：慶應義塾常任理事
- 松本 芳彦：一般社団法人日本化学工業協会常務理事

休憩

4 企業トップからの提言(16:10～)

- 川崎 秀一：沖電気工業株式会社代表取締役社長
- 永山 治：中外製薬株式会社代表取締役会長 最高経営責任者
- 山下 徹：株式会社エヌ・ティ・ティ・データ取締役相談役

5 パネルディスカッション(16:25～)

【テーマ】

日本の産業界を担う若者が歩むべきステップとは？
社会人の学びを支える大学の姿とは？

【モデレーター】

松本 洋一郎：東京大学理事・副学長

【パネリスト】

赤平 昌文：筑波大学理事・副学長

内田 史彦：株式会社日立製作所研究開発本部技術統括センタ長

トラン・ゴック・フック(新田一福)：株式会社メトラン代表取締役

沼上 幹：一橋大学大学院商学研究科長

藤本 治己：帝人株式会社採用・人財開発部長

6 閉会挨拶(17:45～) 経済産業省